

# めぐみイエス・キリスト教会

2022年6月5日(日)ペンテコステ礼拝  
週報「通算第611号」



## 2022年標題聖句

### 第 I テモテへの手紙御6章17節～19節

《高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませて下さる神に望みを置き、善を行ない、立派な行ないに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌416「聖霊来たれり」 p. 668

【交読文】 No.20 詩篇第57篇(抜粋) p. 894

【賛美Ⅱ】 新聖歌16「いざやもろともに」 p. 20

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.5「聖霊の風」

【聖書朗読】 使徒の働き2章32節～43節(新約p. 235)

【礼拝説教】 《約束された聖霊》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(使徒の働き2章32節～43節)

2:32 このイエスを、神はよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。

2:33 ですから、神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いでくださったのです。

2:34 ダビデが天に上ったのではありません。彼自身こう言っています。『主は、私の主に言われた。あなたは、私の右の座に着いていなさい。』

2:35 私があなたの敵をあなたの足台とするまで。』

2:36 ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければ

ばなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」

2:37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、私たちはどうしたらよいでしょうか」と言った。

2:38 そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

2:39 この約束は、あなたがたに、あなたがたの子どもたちに、そして遠くにいるすべての人々に、すなわち、私たちの神である主が召される人ならだれにでも、与えられているのです。」

2:40 ペテロは、ほかにも多くの言葉をもって証しをし、「この曲がった時代から救われなさい」と言って、彼らに勧めた。

2:41 彼の言葉を受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、三千人ほどが仲間に加えられた。

2:42 彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。

2:43 すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議とするしが行なわれていた。

### ●ポイント1. 「主イエスの聖霊の約束の最初の預言」とは？

#### ※ヨハネの福音書14章16節～17節「もう一人の助け主」(新約p.214下段)

14:16「そして私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与え下さり、その助け主がいつまでも、あなたがたと共にいるようにして下さいます。

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたと共におられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。」

### ●ポイント2. 「私が去って行かなければ」とは？

#### ※ヨハネの福音書16章7節～9節「その方がくると」(新約p.218上段最初)

## ◎先週の礼拝メッセージの概要【私があなたがたを愛したように】

《使徒ヨハネは福音書において自分自身の事を、『イエスが愛しておられた弟子』と、書き記しています。ヨハネは、主イエスの実の従兄弟であり、また十二弟子の中で、一番若かったと言われています。主イエスは、特に、このヨハネを愛しておられました。また、ヨハネ自身も、主から愛されていたことを十分知っていたことは、間違いありません。

二世紀初頭の頃に、主イエスを知っている最後の生き証人となったヨハネは、長老として、「主の愛」について、その書簡に語っています。『愛する者たち。私たちは互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。』と。

神様の愛とは、それは「十字架」です。身代わりの死であり、流された尊い血潮です。本来、私たちが受けるべき罪の裁きを、主は代わりに受けて死んで下さいました。それだけではありません。私たちが永遠に生きる為に、3日目によみがえられたのです。ここに「神様の愛」があります。

頭では分かっており、知識では十分です。しかし、本当に神様の愛を、じかに身を持って体験しなければ、分からない事も事実なのです。

主イエス様に真剣に願い祈り求めれば、主はお会いして下さいます。その時、すべての栄光は父なる神様に帰せられることになるのです。

主は、本当に私たち一人一人を愛しておられます。あなたは愛されています。愛を知った者は、自分を愛し他人を愛せるようになるのです。》

## ◎お知らせ

※6月12日(日)の第二主日礼拝は、通常通り午前10時からです。また6月17日(金)マイライフジーザス集会在、午後2時よりあります。